



住所 宇陀市菟田野宇賀志1096
賀志下車。南へ徒歩約25分
(祭神) 宇迦斯神
(拝観) 境内自由
(交通) 近鉄榛原駅から「菟田野・東吉
(駐車場) あり (無料)
 野村役場「行きバス乗車」「宇
(電話) なし

宇賀神社 (宇陀市)

宇賀神社のある宇陀市菟田野宇賀志は、神武東征の舞台となった「穿邑」だという伝承があります。

古事記によると、神倭伊波礼毘古神(のちの神武天皇)は、地元の豪族である兄宇迦斯と弟宇迦斯の兄弟に八咫鳥を送り、服従するように命じ



ました。弟は従いました。兄は従うと偽り、この

地を守るため、神倭伊波礼毘古神を討つ計画を立てました。しかし、弟の密告で失敗し、自らがワナを仕掛けた「大殿」という建物で亡くなります。現在も神社の近くに、大殿の読み方に似た「ヨドノ」という小字があり

ます。兄が死んだ時に流れた血から「血原」と呼ばれる場所もあり、いずれも旧菟田野町観光協会看板が立っています。祭神は、この土地の神である宇迦斯神ですが、住民は、地元を守ろうとした兄宇迦斯をたたえ、今でも大切に祭っているそうです。

本殿は春日造り(切り妻屋根で、棟と直角な面に入り口がある様式)で銅板葺き。手水舎の「子もうけ石(陰陽石)は、夫婦でなでると、子宝が授かると伝わります。10月第3日曜にある宇太水分神社(宇陀市)の「みくまり祭」には、子どもや太鼓を神輿のように担ぐ「お太鼓台」が宇賀神社から繰り出します。(奈良まほろばソムリエの会副理事長 松浦文子)

神武東征伝説の地